

南渡島消防事務組合とは

南渡島消防事務組合は北海道南部に位置し、昭和47年12月18日に上磯町・大野町・七飯町の3町で広域消防体制を確立しました。その後、平成16年12月に鹿部町が加入、さらに平成18年2月に上磯町と大野町が合併して北斗市となり1市2町で構成し現在に至っております。

管内の面積は 724.82 km²、総人口 75,748人(令和2年国勢調査)で、函館市に隣接した豊かな自然と活気ある産業に満ちた地域となっております。

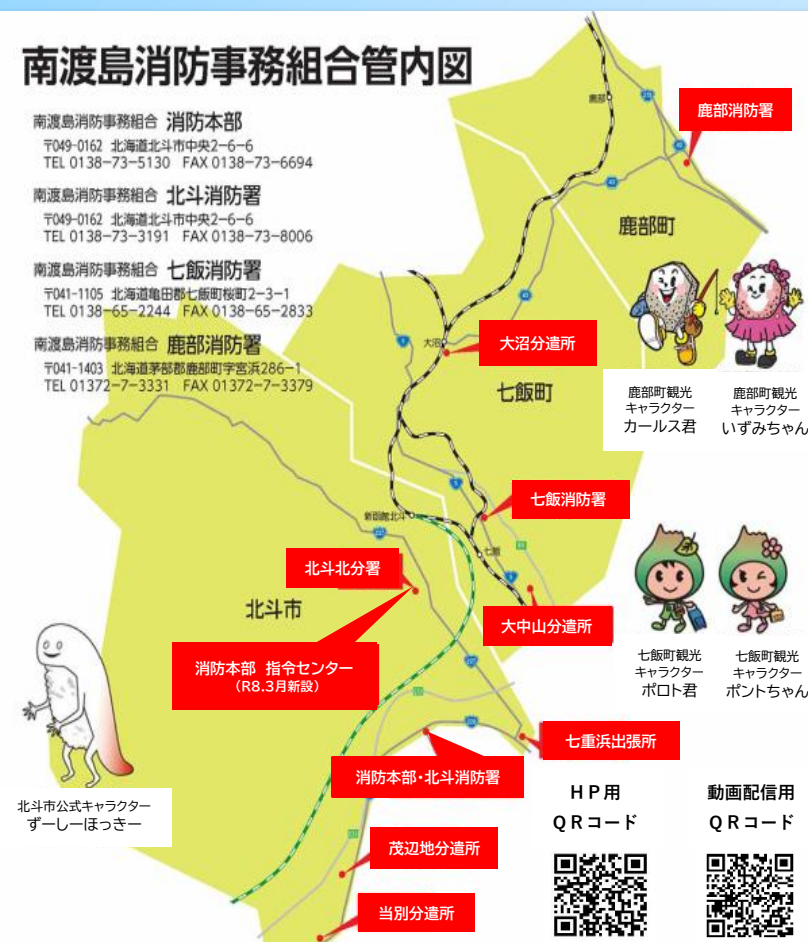
南渡島消防事務組合管内図

南渡島消防事務組合 消防本部
〒049-0162 北海道北斗市中央2-6-6
TEL 0138-73-5130 FAX 0138-73-6694

南渡島消防事務組合 北斗消防署
〒049-0162 北海道北斗市中央2-6-6
TEL 0138-73-3191 FAX 0138-73-8006

南渡島消防事務組合 七飯消防署
〒041-1105 北海道亀田郡七飯町板町2-3-1
TEL 0138-65-2244 FAX 0138-65-2833

南渡島消防事務組合 鹿部消防署
〒041-1403 北海道茅部郡鹿部町宇宮浜286-1
TEL 01372-7-3331 FAX 01372-7-3379



・採用に関するお問い合わせ先 南渡島消防事務組合消防本部

〒049-0162 北海道北斗市中央2-6-6
TEL:0138-73-5130 FAX:0138-73-6694
h-soumu@minamioshima-syoubou.jp
<http://www.minamioshima-syoubou.jp>

消防士募集中です！

8月 申込受付 → 10月 一次試験 → 11月 二次試験 → 12月 採用内定

一次試験

- ・教養試験(5肢択一式) 2時間
- ・適性試験(150項目) 20分
- ・ // (90題) 15分
- ・論文試験(800字以上) 1時間

二次試験

- ・体力試験
(腹筋・腕立て伏せ・立ち幅跳び
懸垂・握力測定・シャトルラン)
※令和8年度採用試験時の種目
- ・面接試験(集団面接)

～女性職員からのメッセージ～

女性職員活躍中!!



さまざまな業務に携わる機会があり、とてもやりがいを感じています。救急現場では「女性の方がいてくれた」と言われたり、避難訓練では子供たちから「女性の消防士さんだ」と声をかけてもらったりと、女性である強みを感じることがあり嬉しく思います。体力に自信がなくても不安に感じる必要はありません。活躍できる場面はたくさんあります。

【今後の目標】

小型船舶操縦士の資格を取得し、現在水難救助隊のボート隊員として活動しています。今後も様々な資格を取得し、男女関係なく活動できる幅を広げていくことが目標です。

令和9年度 消防職員募集案内 南渡島消防事務組合



給与・勤務条件等について

初任給

大卒	救命士※	短大卒	高卒
232,000円	222,600円	216,500円	200,300円

※3年制の専門学校卒業の場合

諸手当

- ・通勤手当
- ・住宅手当
- ・扶養手当
- ・休日勤務手当
- ・寒冷地手当
- ・期末・勤勉手当
- ・時間外勤務手当
- ・特殊勤務手当
- ・各種出勤手当等

休暇制度

- ・年次有給休暇
- ・病気休暇
- ・介護休暇
- ・特別休暇

特別休暇とは条例に基づき結婚、忌引、夏季休暇、出産、育児など特定の事由で休暇が取れる制度です。

勤務サイクルについて

当直勤務サイクル(例)

1日 日曜日	2日 月曜日	3日 火曜日	4日 水曜日	5日 木曜日	6日 金曜日	7日 土曜日
当直	非番日	当直	非番日	週休日	週休日	当直

・当直勤務:8時30分～翌日の朝8時30分まで
消防隊や救急隊など、災害対応にあたる職員が当直勤務しています。

・日勤:8時30分～17時00分まで
管理職や、消防本部で働く総務課や消防課の職員が平日の5日間勤務しています。

予防業務

共同住宅や各事業所への立入検査を実施し、設備等の不備や防火管理体制を指導します。また、火災発生後には原因調査活動も行います。



指令センター

119番通報を24時間体制で受け付け、現場の隊員へ出動指令を出し、必要であれば通報者へ初期消火や応急処置等を指導することもあり、消防活動の最初の一手を担います。



その他

消防救助技術大会への出場は、複雑多様化する災害に対応するため、隊員の体力・精神力の向上や高度な救助技術の向上を目的に開催されます。



消防隊

火災発生時にいち早く現場へ駆けつけ、消火活動や要救助者の検索などを行います。



救助隊(水難救助隊兼務)

交通事故・山岳遭難・水難事故などの救助現場に対応し、必要に応じて他消防本部や北海道防災航空隊と連携し救助活動を行います。



救急隊

各救急隊に救急救命士を配置し、現場から病院への搬送中も高度な救急救命処置を行います。
広域搬送への対応についても、必要に応じてドクターヘリと連携し、高度な医療介入を目指します。

